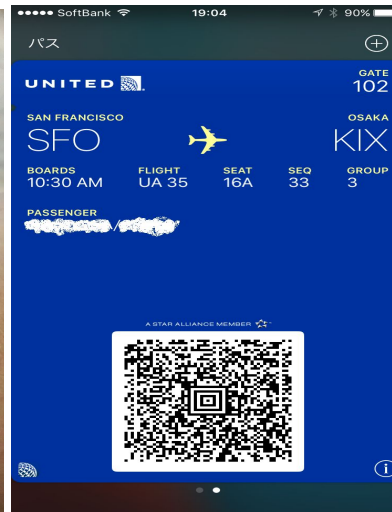
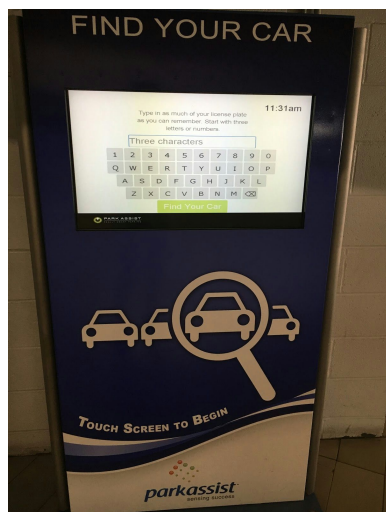


2016年2月16日より、2月27日までアメリカカリフォルニア州ロスアンゼルスとフロリダ州オーランドへ行ってまいりました。フロリダは約5年ぶり、ロスアンゼルスは約15年ぶりの訪問でした。

まず最初に感じた変化では、アプリが日本以上に生活に入り込んでおり、航空会社をはじめディズニーワールドでもアプリを活用したサービスが発達していました。ディズニーワールドでは下記のバンド一つでホテルの鍵から入場券、はたまた事前にクレジットカードを登録していると、園内のすべての支払いまで完了する仕組みになっていました。日本ではまだ紙のファストパスもアプリで管理できるようになっていました。（但しこのサービスはまだフロリダのディズニーワールドのみ。カリフォルニアは未導入）スマホにファストパスのタイムスケジュールが表記されたり、おすすめスケジュールに合わせてパスを取ったりできました。

航空券も事前にアプリでチェックインし、当日はスマホの画面をかざしてセキュリティーチェック通過と搭乗ができる仕組みに変わっていました。アメリカ系の航空会社はおしなべてアプリの利用を国内国際問わず推進していました。今後は紙のイーチケットより、アプリの画面見せて搭乗することが増えることでしょう。但しバッテリー切れの恐れが心配な方は、ぜひともバックアップで紙に印刷されることをお勧めします。実際私は紙に印刷をせず出発してしまいましたので、かなりドキドキいたしました。



駐車場のシステム
券

車のナンバープレートを入力
すると、駐車場所を表示する

ディズニーワールドのバンド

ユナイテッド航空の搭乗

駐車場でも面白いシステムに出会いました。サンタモニカの市営駐車場なのですが、ショッピングモールとの出入り口に上記のモニターがおいてあり、自車のナンバーを入力すると、駐車場所を示してくれるものでした。アメリカの駐車場は日本と反対で、前向き駐車が一般的ですので、ちょうど後ろのナンバープレートが見える位置に読み取りカメラのようなものがあり、それでナンバープレートを判別していました。まだ導入している駐車場は多くはありませんが、これが普及するともう帰るときに迷い知らずになり、買い物袋をもってうろうろする必要がなくなるかもしれませんね。